

私たちが呼吸で吐き出すCO₂も、温暖化の原因になるのでしょうか。

確かに、私たちが呼吸するときにはCO₂を吐き出しています。食べ物として体内に取り込んだ有機物を分解し、エネルギーを取り出す過程で最終的にCO₂が排出されるのです。でもそれが温暖化の原因になることはありません。

食物の起源をたどっていくと、植物が光合成をして大気中のCO₂と水から作りだした有機物にたどりつきます。つまり、私たちが吐き出すCO₂は、もともと大気中に存在したものですから、いくら呼吸をしても大気中のCO₂を増やしも減らしもしません。

ちなみに、私たちの呼吸で排出されるCO₂の量はどれくらいでしょうか？ 人の呼気中のCO₂濃度は運動量とともに増加し、安静時の約1%から重作業時の9%まで変化します。軽作業時の平均濃度である約3%を基準に考えると、一人当たり1日に吐き出すCO₂量は約1kgとなります。2019の世界の人口は76億人ですから、1年間に全人類が吐き出すCO₂の量を計算すると約28億トンとなります。これは、化石燃料の消費によって全世界から排出されるCO₂量の約9%に相当します。